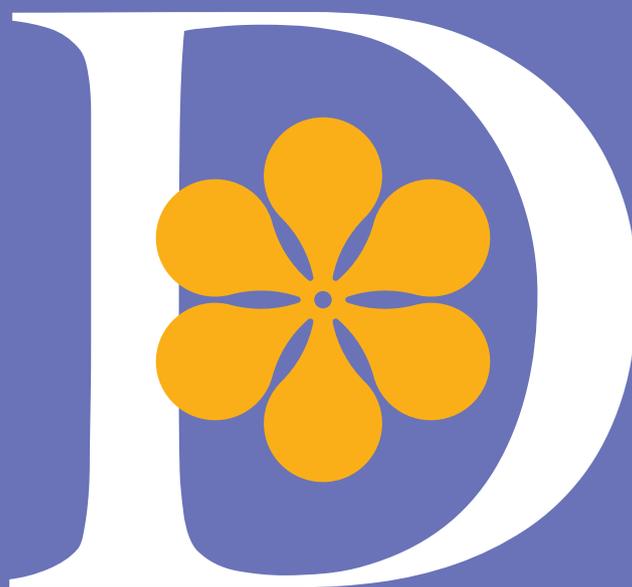


札幌市立大学大学院
デザイン研究科
博士後期課程

2019
履修の手引き



札幌市立大学大学院デザイン研究科

GRADUATE SCHOOL OF DESIGN
SAPPORO CITY UNIVERSITY

デザイン研究科博士後期課程

アドミッション・ポリシー

〈教育研究の理念〉

本課程は、人間重視を根幹とした高度な教育・研究を実践し、「知と創造の拠点」として地域からの負託に応え、高度の専門知識・技術を基盤に地域社会の発展に寄与します。さらに、高度で先進的な教育・研究の中核機関として機能し、新たな理論構築や技術開発に独創的に取り組み、新たな社会価値の創造を図ることが教育研究の理念です。

〈教育研究の目的〉

本課程は、地域社会に内在する様々な課題をデザインの視点から幅広く発見するとともに、高度な教育・研究の成果を通じて、その解決策を見出し、より豊かな人間生活や地域社会の実現に貢献できる人材を育成することを目的としています。この目的を達成するために、本課程が求める学生像は次のとおりです。

〈デザイン研究科博士後期課程の求める学生像〉

- 1 柔軟な思考と独創的な視点に立って地域課題を発見・明確化し、その課題解決に向けて旺盛な探究心を持って自立した研究を遂行できる人
- 2 豊かな感性と深い見識を持ち、高度な教育・研究による成果をもとにデザインの発展に貢献しようとする意識を有する人
- 3 既成の概念にとらわれず、自立して独自のデザイン理論構築や技術開発に取り組み、新たな社会価値の創造を目指す意欲と実行力を有する人

カリキュラム・ポリシー

博士後期課程では、本課程に掲げる理念・目的のもと教育・研究活動を展開し、目標とする人材を育成するため、以下の方針に基づき教育課程を編成します。

- 1 体系的・組織的な教育研究指導を意図した教育課程とする。
- 2 人間空間デザイン分野、人間情報デザイン分野の2つの分野を設け、「課題発見・分析・解決能力」「研究遂行能力」「調整力」「指導力」といったデザイン学研究を自律的に推し進める総合能力を修得する授業科目を配置する。
- 3 地域社会に内在する様々な課題をデザインの視点から発見・解決するために、コースワークがリサーチワークの基礎となるようデザインの学術的・社会的意義を追求し、地域課題の先駆的事例をテーマとした横断的実践教育を通して幅広い視野でものごとを探求する能力を養う教育課程とする。
- 4 専門分野における新規性のある知見を導きだし、『博士論文』としてまとめられる人材育成を目指した教育課程とする。

ディプロマ・ポリシー

博士後期課程では、デザイン分野における学術の理論及び技能の高度化を追究し、自立した研究者として、デザインに関連する課題や研究に取り組み、所定の単位を修めた上で博士論文の審査に合格し、以下の能力を備えた者に博士の学位を授与します。

- 1 自身の専攻分野の専門的知識・技能を中心としつつ、関連近隣分野の基礎的素養をも修得し、幅広い見識から事象の本質を捉える「課題発見・分析・解決能力」
- 2 デザインの視点を通じて自主的・自立的に研究や調査、分析等を実践できる「研究遂行能力」
- 3 国内外の専門家や研究者とのコミュニケーションを図りながら、広く社会全体を俯瞰し、「リーダーシップ」を発揮できる確かな「調整力」及び「指導力」

2019 履修の手引き

札幌市立大学大学院デザイン研究科
博士後期課程

《目 次》

1 授業スケジュール

1-1 年間スケジュール	04
1-2 修学進行表	05
1-3 時間割	07

2 教育課程

2-1 札幌市立大学大学院デザイン研究科（博士後期課程）の 教育・研究上の理念	09
2-2 教育目的	09
2-3 育成する人材像	10
2-4 教育課程の編成・特色	11
2-5 博士論文研究スケジュール	14

3 履修要項

3-1 授業科目一覧・履修モデル	19
3-2 履修登録について	22
3-3 履修登録マニュアル	24

1

博士後期課程 授業スケジュール

- 1-1 年間スケジュール
- 1-2 修学進行表
- 1-3 時間割

1 -1 年間スケジュール

◆入学式	4月 2日(火)
◆前期ガイダンス	4月 3日(水)
◆前期授業開始	4月 4日(木)
◆前期履修登録期間	4月 4日(木)～4月 11日(木)
◆健康診断	4月 10日(水)
◆夏季休業	8月 10日(土)～9月 1日(日)
◆前期成績公表	9月 2日(月)
◆後期授業開始	9月30日(月)
◆後期履修登録期間	10月 1日(火)～10月 8日(火)
◆冬季休業	12月25日(水)～1月 5日(日)
◆後期成績公表	2月27日(木)
◆春季休業	3月 1日(日)～3月31日(火)
◆修了式	3月 19日(木)

1-2 修学進行表 (博士後期課程1・2年次)

※①は博士後期課程1年次関連、②は博士後期課程2年次関連

週数	月	月		火		水		木		金		土		日		備考			
		回数		回数		回数		回数		回数		回数		回数					
1	4月	1	-	2	-	3	-	4	1	5	1	6		7		前期ガイダンス (4/3) 前期授業開始 (4/4) 健康診断 (4/10)			
2		8	1	9	1	10	1	11	2	12	2	13		14					
3		15	2	16	2	17	2	18	3	19	3	20		21					
4		22	3	23	3	24	3	25	4	26	4	27		28					
5		29	-	昭和の日	30	-	休日	1	-	休日(天皇即位)	2	-	休日	3	-		憲法記念日	4	みどりの日
6	5月	6	-	振替休日	7	4		8	4	9	5	10	5	11	5	12			
7		13	4	14	5	15	5	16	6	17	6	18	6	19	6	20			
8		20	5	21	6	22	6	23	7	24	7	25	7	26	7	27			
9		27	6	28	7	29	7	30	8	31	8								
10	6月	3	7	4	8	5	8	6	9	7	9	8		9					
11		10	8	11	9	12	9	13	10	14	10	15	オープンキャンパス	16					
12		17	9	18	10	19	10	20	11	21	11	22		23					
13		24	10	25	11	26	11	27	12	28	12	29	①研究課題届提出期限	30					
14	7月	1	11	2	12	3	12	4	13	5	13	6		7					
15		8	12	9	13	10	13	11	14	12	14	13		14					
16		15	-	海の日	16	14	17	14	18	15	19	15	20	D編入学・博士前期課程入試	21				
17		22	13	23	15	24	15	25	-	26	-	27		28					
18		29	14	30	-	31	-	1	-	2	-	3		4					
19	8月	5	15	6	-	7	-	8	-	9	-	10	夏季休業開始	11	山の日				
20		12	-	振替休日	13	-	14	-	15	-	16	-	17		18				
21		19	-	20	-	21	-	22	-	23	-	24		25					
22		26	-	27	-	学内研究交流会	28	-	29	-	30	-	31		1	夏季休業終了			
23	9月	2	-	成績公表	3	-	4	-	5	-	6	-	7	N編入学・助産学入試	8				
24		9	-	10	-	11	-	12	-	13	-	14		15					
25		16	-	敬老の日	17	-	18	-	19	-	20	-	21	オープンキャンパス、(芸森C)大学祭	22	(芸森C)大学祭			
26		23	-	秋分の日(桑園C)大学祭	24	-	25	-	9月卒業・修了式	26	-	27	-	28	D・N博士前期課程入試	29			
27		30	1	後期授業開始	1	1	履修登録開始	2	1	3	1	4	1	5	6				
28	10月	7	2	8	2	履修登録終了	9	2	10	2	11	2	12	13					
29		14	-	体育の日	15	3	16	3	17	3	18	3	19	20					
30		21	3	22	-	休日(即位礼正殿の儀)	23	4	24	4	25	4	26	27					
31		28	4	29	4	30	5	31	5	1	5	2	3	文化の日					
32	11月	4	-	振替休日	5	5	6	6	7	6	8	6	9	10					
33		11	5	12	6	13	7	14	7	15	7	16	17						
34		18	6	19	7	20	8	21	8	22	8	23	勤労感謝の日、学部特別選抜入試	24					
35		25	7	26	8	27	9	産学官全研究交流会	28	9	29	9	30	D構造型連携特別演習公開発表会	1				
36	12月	2	8	3	9	4	10	5	10	6	10	7	8						
37		9	9	10	10	11	11	12	11	13	11	14	15						
38		16	10	17	11	18	12	19	12	20	12	21	22						
39		23	11	24	12	25	-	冬季休業開始	26	-	27	-	28	29	年末年始休日				
40		30	-	年末年始休日	31	-	年末年始休日	1	-	元旦 年末年始休日	2	-	年末年始休日	3	-	年末年始休日	4	5	冬季休業終了
41	1月	6	12	7	13	8	13	9	13	①研究計画書審査会	10	13	11	12					
42		13	-	成人の日	14	14	15	14	16	14	①研究計画書審査結果公表(仮)	17	14	18	19				
43		20	13	21	15	22	15	23	15	24	15	25	26						
44		27	14	28	-	29	-	30	-	31	-	1	2						
45	2月	3	15	4	-	5	-	①研究計画書再提出期限	6	-	7	-	8	N博士後期課程入試	9				
46		10	-	11	-	建国記念の日	12	-	②公開発表会用機械提出期限	13	-	①研究計画書再審査会	14	-	15	16			
47		17	-	18	-	②第1回公開発表会(中間発表)	19	-	20	-	21	-	22	23	天皇誕生日				
48		24	-	振替休日	25	-	学部一般前期・D留学生入試	26	-	27	-	成績公表	28	-	29	D博士後期課程入試	1	春季休業開始	
49	3月	2	-	3	-	4	-	5	-	6	-	7	8						
50		9	-	10	-	11	-	12	-	D学部一般後期入試	13	-	14	15					
51		16	-	17	-	18	-	19	-	卒業・修了式	20	-	春分の日	21	22				
52		23	-	24	-	25	-	26	-	27	-	28	29						
53		30	-	31	-														

…長期休業期間

修学進行表 (博士後期課程3年次)

※(9月)は2019年9月修了関連、(3月)は2020年3月修了関連

週数	月	月		火		水		木		金		土		日		備考
		回数		回数		回数		回数		回数		回数		回数		
1	4月	1	-	2	-	3	-	4	1	5	1	6	7			前期ガイダンス (4/3) 前期授業開始 (4/4) 健康診断 (4/10)
2		8	1	9	1	10	1	11	2	12	2	13	14			
3		15	2	16	2	17	2	18	3	19	3	20	21			
4		22	3	23	3	24	3	25	4	26	4	27	28			
5	5月	29	-	30	-	1	-	2	-	3	-	4	みどりの日	5	こどもの日	2019年9月修了関連
6		6	-	7	4	8	4	9	5	10	5	11	12		博士論文予備審査 申請期限(5/10)	
7		13	4	14	5	15	5	16	6	17	6	18	19			
8		20	5	21	6	22	6	23	7	24	7	25	26			
9	27	6	28	7	29	7	30	8	31	8	1	2				
10	6月	3	7	4	8	5	8	6	9	7	9	8	9			博士論文予備審査会 (6/3~10)
11		10	8	11	9	12	9	13	10	14	10	15	16	オープンキャンパス		
12		17	9	18	10	19	10	20	11	21	11	22	23			
13		24	10	25	11	26	11	27	12	28	12	29	30			
14	7月	1	11	2	12	3	12	4	13	5	13	6	7			博士論文審査会 (本審査) 申請期限(7/12)
15		8	12	9	13	10	13	11	14	12	14	13	14			
16		15	-	16	14	17	14	18	15	19	15	20	D編入学・博士前期 課程入試	21		
17		22	13	23	15	24	15	25	-	26	-	27	28			
18	29	14	30	-	31	-	1	-	2	-	3	4			博士論文審査会(本審査) 最終試験(8/2~9)	
19	5	15	6	-	7	-	8	-	9	-	10	11	山の日			
20	12	-	13	-	14	-	15	-	16	-	17	18				
21	19	-	20	-	21	-	22	-	23	-	24	25				
22	26	-	27	-	28	-	29	-	30	-	31	1	夏季休業終了		最終論文 提出期限(8/30)	
23	2	-	3	-	4	-	5	-	6	-	7	8				
24	9	-	10	-	11	-	12	-	13	-	14	15				
25	16	-	17	-	18	-	19	-	20	-	21	22				
26	23	-	24	-	25	-	26	-	27	-	28	29			修了判定結果公表 (9/17) 博士論文提出期限 (9/30)	
27	30	1	1	履修登録開始	2	1	3	1	4	1	5	6				
28	7	2	8	履修登録終了	9	2	10	2	11	2	12	13				
29	14	-	15	3	16	3	17	3	18	3	19	20				
30	21	3	22	-	23	4	24	4	25	4	26	27			2020年3月修了関連	
31	28	4	29	4	30	5	31	5	1	5	2	3	文化の日			
32	4	-	5	5	6	6	7	6	8	6	9	10				
33	11	5	12	6	13	7	14	7	15	7	16	17				
34	11月	18	6	19	7	20	8	21	8	22	8	23	24		博士論文予備審査 申請期限(11/8)	
35		25	7	26	8	27	9	28	9	29	9	30	1			
36		2	8	3	9	4	10	5	10	6	10	7	8			
37	12月	9	9	10	10	11	11	12	11	13	11	14	15		博士論文予備審査会 (12/2~11)	
38		16	10	17	11	18	12	19	12	20	12	21	22			
39		23	11	24	12	25	-	26	-	27	-	28	29	年末年始休日		
40		30	-	31	-	1	-	2	-	3	-	4	5	冬季休業終了		
41	1月	6	12	7	13	8	13	9	13	10	13	11	12		博士論文審査会 (本審査) 申請期限(1/10)	
42		13	-	14	14	15	14	16	14	17	14	18	19			
43		20	13	21	15	22	15	23	15	24	15	25	26			
44		27	14	28	-	29	-	30	-	31	-	1	2			
45	2月	3	15	4	-	5	-	6	-	7	-	8	9		博士論文審査会(本審査) 最終試験(2/3~12) 公開発表会(2/14~20) 最終論文 提出期限(2/21)	
46		10	-	11	-	12	-	13	-	14	-	15	16			
47		17	-	18	-	19	-	20	-	21	-	22	23	天皇誕生日		
48		24	-	25	-	26	-	27	-	28	-	29	1	春季休業開始		
49	3月	2	-	3	-	4	-	5	-	6	-	7	8		修了判定結果公表 (3/4) 博士論文提出期限 (3/31)	
50		9	-	10	-	11	-	12	-	13	-	14	15			
51		16	-	17	-	18	-	19	-	20	-	21	22			
52		23	-	24	-	25	-	26	-	27	-	28	29			
53		30	-	31	-											

… 長期休業期間

1-3 時間割

札幌市立大学大学院デザイン研究科博士後期課程開講科目（時間割）

2019前期

※開講時期は予定です。履修者数等の状況により変更になる可能性があります。

科目名	担当教員	教室	開講時期
人間空間デザイン研究法	◎矢部、石井、羽深、椎野	E棟講義室1	月曜日6講目
人間情報デザイン研究法	◎石井、細谷	E棟講義室2	月曜日6講目
横断型連携特別演習	◎柿山、斉藤、町田、椎野、藤木、三谷、山田(信)	レクチャールーム、他	担当教員により異なります。詳細は授業内でお知らせします。
博士デザイン特別演習	主指導教員		担当教員により異なります。詳細は授業内でお知らせします。

2019後期

※開講時期は予定です。履修者数等の状況により変更になる可能性があります。

科目名	担当教員	教室	開講時期
人間空間デザイン特講	◎羽深、斉藤、矢部、椎野、山田(信)、山田(良)	E棟講義室1	月曜日6講目
人間情報デザイン特講	◎安齋、石井、細谷	レクチャールーム	月曜日6講目
横断型連携特別演習	◎柿山、斉藤、町田、椎野、藤木、三谷、山田(信)	レクチャールーム、他	担当教員により異なります。詳細は授業内でお知らせします。

2019通年

科目名	担当教員	教室	開講時期
博士特別研究I	主指導教員		担当教員により異なります。詳細は授業内でお知らせします。
博士特別研究II			
博士特別研究III			

2

博士後期課程 教育課程

- 2-1 札幌市立大学大学院デザイン研究科（博士後期課程）の
教育・研究上の理念
- 2-2 教育目的
- 2-3 育成する人材像
- 2-4 教育課程の編成・特色
- 2-5 博士論文研究スケジュール

デザイン研究科デザイン専攻博士後期課程

博士後期課程は、博士前期課程の教育・研究分野である「空間デザイン分野」「製品デザイン分野」「コンテンツ・メディアデザイン分野」の3分野を基礎とし、その構成は、「空間デザイン分野」を発展させた「人間空間デザイン分野」及び「製品デザイン分野」と「コンテンツ・メディアデザイン分野」を発展、融合させた「人間情報デザイン分野」の2分野で編成されています。

●「人間空間デザイン分野」

これからの住空間や都市環境など屋内外の様々な空間を研究対象とするうえで、今まで以上に歴史と文化を含んだ「自然」との共存・調和を尊重しながら「ひと」の営みの場を一層豊かなものとする教育・研究を目指します。

●「人間情報デザイン分野」

魅力ある製品や質の高いコンテンツを生み出すためには、感性評価や人間工学等の視点に基づいて研究を行うことはもとより、インタフェース表現やメディア展開の手法等も含め、様々な要素が相互かつ複雑に関連していることを認識し、実践的研究や評価分析に取り組むことが不可欠であると考えます。このような考え方のもと、当該分野では、博士前期課程における製品デザインとコンテンツ・メディアデザインの2分野を融合・発展させた1分野として設定し、総合的な教育・研究を行います。

2-1 札幌市立大学大学院デザイン研究科（博士後期課程）の教育・研究上の理念

本課程が教育・研究の対象とするデザインは、「人間」を中心に考える学問であることから、「人と人」、「人と社会」、「人と人工物」の望ましい関係を探究するという視点に立ち、先端的な研究を通じて得られる知的財産を活かして、地域の活性化や安心・安全と真の豊かさを実感できる地域社会の実現に貢献することを目指します。

①自立して研究活動を行い、デザインの学術理論及び技能の高度化を追求します。

独自の視点から課題を発見し、自主的・自立的に研究を行い、精深な専門的知見を身に付け、それを基礎として事象を俯瞰できる幅広い洞察力を培うとともに新たな理論の構築や技術開発に取り組みます。

②人間重視を根幹とした高度な教育・研究を実践し、「知と創造の拠点」としてその成果を積極的に地域へ還元します。

「人間重視」の考え方を根幹に据えた教育・研究を通じて、複雑かつ多岐にわたる地域課題の発見・解決に寄与することができる高度な専門性を有する人材を育成するとともに、知的財産を広く地域社会に還元することを通じて、安心・安全で真の豊かさを実感できる地域社会づくりに貢献します。

③深い専門知識や技能に併せて幅広い視野を持つ一層高度な実践的専門職業人及び研究者・教育者を育成します。

デザインに関する専門性を一層追求し、知識基盤社会において国内外で活躍しうる創造力、分析能力、実践力及びマネジメント能力を併せ持った高度専門職業人を育成します。また、先端的かつ高度な研究に取り組むとともに専門分野の研究にとどまらず周辺の学問分野を取り入れた学際的・実践的な教育・研究を行う研究者・教育者を育成します。

2-2 教育目的

本課程は、「自立した研究者として独創的な観点から社会課題を発見するとともに、深く研究に取り組み、デザイン分野における学術の理論及び技能の高度化の追求を通じて、社会への貢献を果たす。」（札幌市立大学大学院学則第4条第2項）ことを教育・研究上の目的としています。

地域社会は、環境、医療、文化、情報、経済、産業、国際関係、行政等、多種多様なシステムが複雑かつ相互に関係しながら構成されており、近年の社会構造の急激な変化に伴い、様々な課題が生じています。特に北海道内では、経済・社会・文化活動等の拠点が札幌・石狩圏に集中する一方で、地方都市では過疎化が進み、当該地域では地元の魅力や活力を活かした地域再生に向けた「まちおこし」の様々な試みが行われています。その実効性を高めるには、既存の社会システムや経済システムの枠組みにとらわれず、斬新なデザインの視点から特色ある地域資源を発掘するとともに、それを地域ブランドとして事業化し、新産業を育成する仕組みを構築することが必要であると考えます。それぞれの地域においてデザインが果たし得る役割や可能性に大きな期待が寄せられており、それに応える高度なデザイン能力を有する人材の育成が求められています。

本課程では、地域社会に内在する様々な課題をデザインの視点から発見するとともに、高度な教育・研究の成果を通じてその解決策を見出し、地域の再生や活性化等に貢献することを目的としています。また、環境に配慮した持続可能な都市空間や住空間のあり方を考え、ひとと自然との共存を目指します。

〈本課程において修得を目指す能力〉

- ①自身の専攻分野の専門的知識・技能を中心としつつ、関連近隣分野の基礎的素養も涵養し、幅広い見識から事象の本質を捉える「課題発見・解析・解決能力」
- ②デザインの視点を通じて自主的・自立的に研究や調査、分析等を実践できる「研究遂行能力」
- ③新しいデザイン理論の構築や技術開発に独創的に取り組み、新たな社会価値を生み出す「創造力」
- ④他人とのコミュニケーションを図りながら、広く社会全体を俯瞰し、「リーダーシップ」を発揮できる確かな「調整力」や「指導力」

2-3 育成する人材像

(1) 育成する人材像

- ①デザインを通じた組織構築や質改善のためのシステム開発を実践し、組織において指導的立場となり得る高度専門職業人の育成

札幌市をはじめ道内自治体では、地元企業等との協働・連携の強化を図り、デザインを通じた地域貢献に取り組む組織を構築する能力や、地域住民のニーズに応える地域資源の探索やシステム開発能力を備える人材が必要とされています。そのため、本課程では、新しい理論に基づいて事業企画等のプロジェクトを構築するとともに、技術開発にも独創的に取り組み、新たな社会価値を生み出す「創造力」を持った人材を育成します。これにより、組織を構築・運営することのできる「リーダーシップ」を発揮する確かな「調整力」や「指導力」を持った高度専門職業人を輩出することができ、全国ならびに北海道、札幌市の近隣のまちづくり機関や産業振興機関に対して、円滑なコミュニケーションを図りながら、産業振興施策等に関する提言を行うことが可能となります。

- ②自立して研究活動を行い、デザインの学問的体系を構築できる研究者・教育者の育成

本課程では、学士課程や修士課程で蓄積した教育・研究成果をさらに発展させ、対象地域から課題を発見し、まちづくり、産業振興、芸術文化の質的改善に向けた科学的根拠を自立的に生み出すことができる「課題発見・解析・解決能力」を持った人材、そして自主的・自立的に研究や調査、分析等を実践できる「研究実践能力」を持った人材、加えてモノづくりの研究手法論や先駆的なシステムモデルの研究を推進できる高度な人材を育成します。

さらには、これらに関する研究成果や知を体系化して、デザイン科学を成熟した学問とし、次世代を担う若者に高度な教育・研究の成果とその方法論、指導論等を高い倫理観や職業観を持って教授できる優れた教育能力を持つ研究者・教育者を育成します。

(2) 修了後の進路

企業における企画立案部門・設計部門等の統括者（プロジェクトマネージャー）、公的研究機関やシンクタンク等における研究者及び指導的役割を担う企画立案者となることを想定しており、これらの企業・研究機関において、調

査分析、企画立案、運営管理業務を統括できる高度専門職業人としての役割を担います。また、一部は大学等の高等教育研究機関における教育・研究者となることを想定しています。

【人間空間デザイン分野】

- ・建設業、建築設計事務所、不動産業、ゼネコン等における設計技術者及び企画立案部門・設計部門のプロジェクトマネージャー等の高度専門職業人
- ・公的試験研究機関、民間企業の研究所や研究部門、シンクタンク等における研究者及び指導的役割を担う企画立案者、北方建築総合研究機関・環境科学研究機関、総合研究調査機関等
- ・大学等の高等教育機関における教育・研究者（デザイン学部、芸術工学部、工学部、環境科学部 等）
- ・従前の勤務先に戻る（社会人学生の場合）

【人間情報デザイン分野】

- ・製造業、通信・運輸業、マスコミ・放送、デザイン事務所、情報サービス業、その他のサービス業における企画立案部門等の高度専門職業人
- ・公的試験研究機関、民間企業の研究所や研究部門、シンクタンク等における研究者及び指導的役割を担う企画立案者、工業試験場、総合研究調査機関、民間企業等の情報メディア研究部門 等
- ・大学等の高等教育機関における教育・研究者（デザイン学部、芸術工学部、工学部、情報学部、メディア学部、観光学部 等）
- ・従前の勤務先に戻る（社会人学生の場合）

2-4 教育課程の編成・特色

（1）教育課程編成の基本方針

「基本科目」「展開科目」「研究指導科目」の3つの科目区分を設け、必要な授業科目を配置するとともに、当該科目区分ごとに履修要件単位数を定め、体系的なコースワークによる教育課程を編成し、研究指導を体系的・組織的に展開する教育・研究環境を整備しています。教育課程の編成にあたっては、専門分野に関する高度な専門知識及び能力を修得させるとともに、関連する分野の教育を行います。

（2）教育課程編成上の特色

i) 課程制大学院の趣旨に沿った教育課程・研究指導

科目区分を設けて授業科目を配置するとともに、当該科目区分ごとに履修要件単位数及び修了要件単位数を定め、コースワークによる体系的・組織的な教育課程ができるよう配慮しています。

ii) オムニバス方式による効果的な科目の設定

学生が専攻する分野を問わず、デザインを学ぶ上で共通に求められる基盤的知識や研究手法、分析手法等の最新知識や技能を修得させ、さらに俯瞰的なものの見方、基礎的コミュニケーション能力や豊かな人間性、柔軟な適応力や発想力を育むため、近隣領域の内容を含めたオムニバス形式の科目を設定しています。

iii) 単位取得による修了要件の明確化

課程制大学院のコースワークを意識し、各科目の単位数と併せて修了要件単位数を設定しています。学生に対して履修モデルを明示し、3年間を通じた組織的・体系的な学修スケジュールを提供します。

研究指導科目についても、「博士特別研究Ⅰ」、「博士特別研究Ⅱ」、「博士特別研究Ⅲ」として、3年間の通年開講科目と位置づけ、単位数（必修8単位）を定めています。

(3) 科目区分及び授業科目の特色及び履修方法

i) 構成・単位数

①基本科目

「基本科目」には、学生が自身の研究課題に基づき研究を進めていく際に、その研究テーマを問わず、デザイン分野として共通に求められる調査方法、分析方法、評価方法等を修得することを目的とした基本的な科目を設けています。

「人間空間デザイン研究法（2単位）」及び「人間情報デザイン研究法（2単位）」は、論文例や研究方法、評価方法等を示しながら、論文作成に求められる研究の枠組みや解析技法をはじめとして、調査・研究手法全体を俯瞰する位置づけの科目として設けられています。具体的には、各分野の研究に関連する実際の学術論文等を題材に取り上げ、論文の枠組み、論文の構成要素、文献検索、先行研究事例の読解、仮説の設定、実験方法、データ収集、データ解析、理論の検証、考察の手法等を学び、自身の論文作成に有益な方法論構築の全般を修得します。なお、当該科目は、前述の2分野それぞれに即した内容の「研究法」としてオムニバス方式にて開講します。

また、専攻するデザイン分野の知識修得のみならず、異分野に対する理解を深め、社会を俯瞰する広い視野や研究に対する複眼的思考能力を養う観点から、「横断型連携特別演習」を設けています。当該科目は、学生と複数の教員から構成する小グループのもとで、地域課題に関する先駆的事例をテーマとして調査・分析を行い、授業の終盤では全グループが合同で行う討論会等により解決策の総合化を図ります。これにより、学生に対してプレゼンテーション能力やディベート能力を修得させることを狙いとしています。

基本科目では、「横断型連携特別演習」を必修とし、これに加えて研究法の2科目のうち1科目を選択することとします。

②展開科目

「展開科目」には、学生が本課程に相応しいデザイン研究を遂行するために必要な知識・技術を修得するために支えとなる中心的科目を配置し、博士論文作成に繋がる教育を展開します。

展開科目に属する授業科目として、特講科目である「人間空間デザイン特講（2単位）」と「人間情報デザイン特講（2単位）」の2科目のほか、「博士デザイン特別演習（2単位）」の計3科目を開講します。

上記の特講2科目は、それぞれオムニバス形式で開講し、複数の教員が自身の専門分野に特化した授業を行い、学生は自らの専攻分野のみならず、関連する近隣分野の知識も含め、デザインの学問的体系を構築できる能力を養います。

また、演習科目として、2年前期に「博士デザイン特別演習（2単位）」を必修科目として配置します。学生は原則として研究指導教員が担当する当該演習を履修することとし、1年次に学んだ理論や方法論を実践的に展開させることを通じて、分析能力や創造力、実践力等を養います。

展開科目では、「博士デザイン特別演習」を必修とし、これに加えて特講の2科目のうち1科目を選択することとします。

③研究指導科目

研究指導科目は、「博士特別研究Ⅰ」（2単位）、「博士特別研究Ⅱ」（2単位）、「博士特別研究Ⅲ」（4単位）の合計8単位とし、3年間の通年履修を義務付ける必修科目です。

当該特別研究では、学生が研究指導教員等の助言・指導のもと決定する研究テーマについて、3年間を通じて研究に取り組み、最終的にその集大成となる博士論文を取りまとめます。3年間の研究計画を立案・実行することにより、専門知識の涵養と併せて自己のマネジメント能力を研鑽します。

ii) 配当年次の考え方

体系的に科目を履修し、研究指導が受けられるように配当年次を設定しています。基本科目として、デザインの基本的な研究法を身に付ける「人間空間デザイン研究法」及び「人間情報デザイン研究法」は、1年前期に開講します。同じく基本科目である「横断型連携特別演習」は、1年の通年科目として開講します。

展開科目の「人間空間デザイン特講」及び「人間情報デザイン特講」は上記の基本科目を学修した後に履修できるよう1年後期に開講します。

また、1年次に学んだ理論や方法論を実践的に展開、深化させることを狙いとして、「博士デザイン特別演習」を2年前期に開講します。

研究指導科目である「博士特別研究Ⅰ」「博士特別研究Ⅱ」「博士特別研究Ⅲ」の3科目は、1年次から通年開講科目として3年間にわたって開講し、研究指導教員が継続的に一貫した指導を行います。

iii) 修了要件

基本科目から4単位以上（必修2単位を含む）、展開科目から4単位以上（必修2単位を含む）、研究指導科目から8単位、合計16単位以上修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士論文の審査及び最終試験に合格する必要があります。

科目区分	修了要件
基本科目	4単位以上
展開科目	4単位以上
研究指導科目	8単位以上
合計	16単位以上

iv) 博士前期課程の授業科目の聴講

補完的教育の実施について、本課程の学生が希望し、または研究指導教員等が必要と認める場合には、研究科教授会の議を経て、本研究科博士前期課程の授業科目を聴講することができます。詳しくは、履修登録期間内に学生課に問い合わせをしてください。

(4) 研究指導の方法及び修了要件

i) 研究指導科目の指導方法と論文審査

研究指導科目として「博士特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」を設け、研究指導教員が学生の理解度、進行度等を評価しながら指導を行います。博士論文の研究テーマは、研究指導教員及び関連分野の教員の指導のもとで決定し、学生は定期的に指導、助言を受けながら論文を完成させます。

ii) 研究指導スケジュール

学生が入学してから修了するまでの研究指導は、次のようなスケジュールで行います。

2-5 博士論文研究スケジュール

◆デザイン研究科博士論文研究スケジュール

	月	学 生	指導教員	研究科教授会
出願		研究計画書 ↓ 入学試験	事前相談	
	4	入学 ↓ 研究分野及び研究指導教員希望		指導教員決定
1年次		↓ 研究計画立案	履修指導 ↓ 研究課題決定	研究課題報告
	7	↓ 研究計画書作成	研究計画指導	
	1	研究計画書審査申請 ↓ 倫理審査申請 ※研究計画書審査後に行う		研究計画書審査会 【研究計画書審査】 ・研究指導教員3名により構成する ・プレゼンテーション(口頭試問)、質疑応答 倫理審査会 【デザイン研究科倫理審査会】 ・構成員4名 ・その他必要に応じて専門家を入れることができる
		研究遂行(データ収集等)	研究指導	
2年次	2	(2年次前期まで) 第1回公開発表会(中間発表) ・研究計画と進捗状況をプレゼンテーション		(2年次前期まで) 第1回公開発表会(中間発表) ・問題点指摘、意見陳述、改善指導
3年次	11	論文作成 ↓ 博士論文予備審査申請	論文作成指導	主査、副査の決定 ・主査(1名) :当該学生の研究指導を担当する教員以外の研究指導教員 ・副査(3名) :所属分野の研究指導教員および所属分野外の教員(うち1名は、当該学生の研究指導を担当する主副指導教員も可) :必要に応じて、うち1名を学外から招聘することも可
	12			博士論文予備審査会 【博士論文予備審査】(12月上旬) ・主査・副査による論文審査、口頭試問を行う ・予備審査申請書提出後1ヶ月以内に行う ・提出資格審査を合わせて行う (要件:取得単位の状況、研究業績の妥当性)
	1	博士論文(審査用)提出		博士論文審査会(本審査) 【博士論文審査[最終試験]】(2月上旬) ・主査及び副査(予備審査時と同じ) ・上記の博士論文予備審査会で示された意見や指摘を基に修正等を行った論文の審査を書類審査と口頭試問によって行う
	2	第2回公開発表会 ・研究成果の発表、プレゼンテーション ↓ 論文修正		第2回公開発表会 ・修正指導
	3	最終博士論文提出 ↓ 修了		合否判定 ↓ 修了認定(学位授与)

※長期履修学生については、博士特別研究Ⅱを履修中の年度に第1回公開発表会(中間発表)を行います。博士特別研究Ⅱを履修済の者(最終年次を除く)は、第1回公開発表会(中間発表)に合わせて研究経過発表を行うことを推奨します。最終年次のスケジュールについては、上記3年次と同様です。

①指導教員の決定

学生からの申請に基づき、研究科教授会にて研究分野及び研究指導に適する主指導教員1名を決定します。なお、研究テーマが複数教員の専門領域にまたがる学際的研究等の場合には、副指導教員による指導を希望することができます。

②研究計画の立案及び指導

研究テーマを設定し、研究計画を立案します。指導教員は、研究方法、文献検討等により、学生の研究計画の立案を指導します。学生は、研究計画に基づき研究を遂行します。指導教員は、研究テーマが一連の研究手順に沿って進行していくよう指導します。

③研究計画書の作成及び研究計画書審査

指導教員の指導・助言を受けながら、研究テーマについての具体的な研究計画書を作成します。学生からの申請に基づき、研究計画書審査会はプレゼンテーション（口頭試問）及び質疑応答により研究計画書の審査を行います。研究計画書審査会は、本課程を担当する研究指導教員3名により構成され、審査委員の選出は研究科教授会において行われます。

④倫理審査

必要に応じて、「デザイン研究科倫理審査会」による倫理審査を受けてください。

⑤第1回公開発表会

研究成果の発表の場として、第1回公開発表会を開催します。

⑥博士論文の作成及び指導

第1回公開発表会までの研究成果を基に博士論文の作成を開始し、同発表会での意見陳述や指摘等を踏まえ、博士論文をまとめます。

⑦主査・副査の決定

研究科教授会は、学生の研究成果を取りまとめた博士論文を審査するため、その研究テーマの審査に適した専門分野の教員の中から主査1名及び副査3名を選出し、学生に通知します。主査には、研究指導を担当している教員以外の研究指導教員が充てられます。副査は、所属分野の研究指導教員および所属分野外の研究指導教員から構成され、当該学生の研究指導を担当している主・副指導教員のうち1名を充てることも認められています。また、必要に応じて、研究科教授会の承認のもと、副査の内の1名を学外から招聘することができます。

⑧博士論文予備審査

申請に基づき、博士論文予備審査会（前述の主査及び副査）にて、博士論文提出要件を充足しているかどうかについての審査を行います。その後、博士論文を基にプレゼンテーション及び口頭試問により予備審査を行います。

⑨博士論文の提出及び博士論文審査

学生は、博士論文予備審査において示された意見や指摘を基に、修正した博士論文を所定の期日までに提出します。主査及び副査は、提出された博士論文を審査するとともに、その論文内容及び専門領域に関する最終試験（口頭試問）を行います。

⑩第2回公開発表会

研究科教授会は、博士論文に係る研究発表の場として、第2回公開発表会を開催します。主査及び副査は、発表内容に係る問題点を修正指導・助言します。

⑪最終博士論文の提出及び合否判定

学生は、最終試験及び第2回公開発表会にて指摘された事項を修正し、博士論文を完成させます。主査及び副査は、提出された博士論文の最終審査を行い、これらの結果を研究科教授会に報告します。研究科教授会は、主査及び副査による博士論文の審査結果及び最終試験の判定結果並びに当該学生の単位取得状況を総合的に勘案し、博士課程修了の合否を判定します。

⑫博士後期課程の修了及び博士の学位の授与

学長が、研究科教授会の判定結果に基づき、学生の博士後期課程の修了を認定し、博士の学位を授与します。

◆博士論文の審査体制

研究の最終成果となる博士論文は、主査及び副査による博士論文審査会において、博士論文としての水準や倫理的側面等から審査を行い、合否を決定します。この審査は、主査1名及び副査3名の体制で行われ、審査員は研究

科教授会において選出されます。主査は当該学生の研究指導を担当している教員以外の研究指導教員の中から、副査は所属分野の研究指導教員および所属分野外の研究指導教員から構成されます。なお、当該学生の主・副研究指導教員は副査の内の1名になることができます。また、副査の内1名は論文の専門性などを勘案し、必要に応じて研究科教授会の承認のもと学外者を招聘することも認められています。最終的に提出された博士論文については、研究科教授会において合否を判定します。

◆博士論文提出資格

博士論文予備審査では博士論文提出資格を充足しているかどうかについての審査をし、その後博士論文をもとにプレゼンテーション及び口頭試問による審査を行います。博士論文提出資格については、以下のとおりです。

1. 博士論文提出資格について

博士論文提出資格について、以下のとおり定める。

- ア) 博士論文予備審査申請前に権威ある学会誌（学術雑誌）等に掲載された（あるいは掲載が確定した）審査付論文（原著論文または総説論文）が二編以上あること。
- イ) 上記の審査付論文については、原則として二編とも博士論文に関連するものであること。
- ウ) 上記の審査付論文の二編については筆頭著者であり、原則として本課程在学中に掲載された（あるいは掲載が確定した）ものであること。
- エ) 国際会議の審査付論文一編は上記の二編に含むことができる。

2. 博士論文提出資格に係る審査付論文について

博士論文提出資格に係る審査付論文については、以下の①、②のいずれかに該当するものとする。

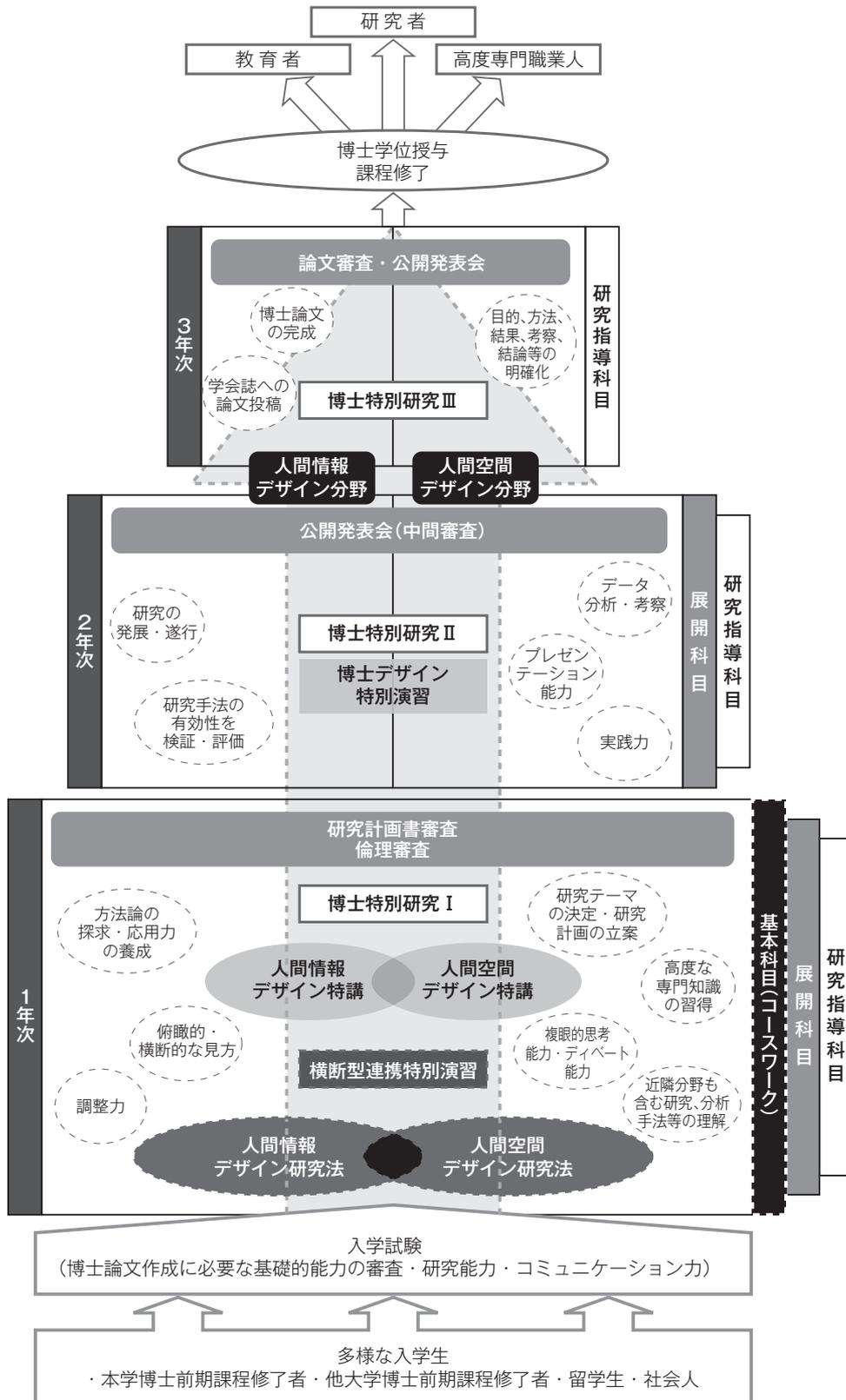
- ①・日本学術会議協力学術研究団体として指定された全国規模の学会から、定期的に発行される学会誌（学術雑誌）等に受理されたものであること。
 - ・学会誌（学術雑誌）等への掲載に係る査読者が2名以上であること。
 - ・掲載頁数は原則6頁以上であること。

※上記の条件に該当しない学会誌（学術雑誌）等へ投稿する場合には、学生はできるだけ早期に申請し、デザイン研究科教授会代議員会（博士後期課程会議）にて可否を審議する。
- ②インパクトファクタが付された国内外の学会誌（学術雑誌）等に受理されたものであること。
 - ※博士論文提出資格に係る国際会議の審査付論文については、以下に注意すること。
 - ・抄録（abstract）に対する審査は受けたが、大会発表論文に対する査読を受けていないものは審査付論文の一編として認めない。
 - ・会議での発表を行い、大会発表論文集に掲載された論文であること。
 - ・掲載頁数は原則6頁以上であること。

◆学位論文の公表

学生は、論文等の公表方法について指導教員から指導を受け、博士論文の審査申請の際、当該論文の学術大会での発表又は論文投稿の予定を記載して提出します。博士論文は本学の学術機関リポジトリ等において公表します。

デザイン研究科博士後期課程教育課程概念図



3

博士後期課程 履修要項

- 3-1 授業科目一覧・履修モデル
- 3-2 履修登録について
- 3-3 履修登録マニュアル

3-1 授業科目一覧・履修モデル

授業科目一覧

教育課程等の概要									
(デザイン研究科デザイン専攻博士後期課程)									
科目区分	授業科目の名称	科目ナンバリング	配当年次	単位数			授業形態		
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習
基本科目	横断型連携特別演習	D1A901	1通年	2				○	
	人間空間デザイン研究法	D1A902	1前期		2		○		
	人間情報デザイン研究法	D1A903	1前期		2		○		
	小計(3科目)		—	2	4	0	—		
展開科目	人間空間デザイン特講	D1A911	1後期		2		○		
	人間情報デザイン特講	D1A912	1後期		2		○		
	博士デザイン特別演習	D2A911	2前期	2				○	
	小計(3科目)		—	2	4	0	—		
研究指導科目	博士特別研究I	D1A921	1通年	2				○	
	博士特別研究II	D2A921	2通年	2				○	
	博士特別研究III	D3A921	3通年	4				○	
	小計(3科目)		—	8	0	0	—		
合計(9科目)			—	12	8	0	—		

課程の修了要件及び履修方法
基本科目から4単位以上(必修2単位含む)、展開科目から4単位以上(必修2単位含む)、研究指導科目から8単位、合計16単位以上修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。

授業科目のナンバリングについて(博士後期課程)

- 本学で開講されている授業科目について、順次性のある体系的な学修を進めるため、各科目にナンバーを付与しています。
- 番号体系
 - ・1桁目 研究科コード D:デザイン研究科
 - ・2桁目 配当年次(配当年次が複数年の場合は、「5」以降の番号を使用する)
 - ・3桁目 カリキュラム区分 現行のカリキュラム:A、新カリキュラム:Bからアルファベット順に使用する)
 - ・4桁目 分類コード 博士後期課程 9:博士後期課程科目
 - ・5～6桁目 博士後期課程科目番号
 - 下2桁を以下のとおりとする。
 - 基本科目 01～10、
 - 展開科目 11～20、研究指導科目 21～30

デザイン研究科博士後期課程履修モデル

人間空間デザイン分野の履修モデル例①

〔研究テーマ例：より豊かな都市空間や住空間の創造について考究する〕

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位	履修時期			学生の動き・教育研究の目標等
				1年次	2年次	3年次	
基本科目	横断型連携特別演習	1通年	2	→			・研究に対する複眼的思考能力、社会を俯瞰する広い視野の涵養
	人間空間デザイン研究法	1前期	2	→			・建築史、都市計画研究法、自然環境調査法等の手法を修得
	人間情報デザイン研究法	1前期					
	小計(2科目履修)	—	4				
展開科目	人間空間デザイン特講	1後期	2	→			・建築史、建築設計・意匠、都市計画、建築環境等についての知識修得
	人間情報デザイン特講	1後期					
	博士デザイン特別演習	2前期	2		→		・建築史、建築設計、建築意匠等の理論を実践的に展開
	小計(2科目履修)	—	4				
研究指導科目	博士特別研究I	1通年	2	→			・建築系指導教員の決定 ・研究テーマの検討・決定 ・研究計画書審査会、倫理審査会での審査
	博士特別研究II	2通年	2		→		・研究テーマの遂行 ・学会誌等への論文投稿 ・公開発表会(中間発表会)での発表
	博士特別研究III	3通年	4			→	・博士論文の作成・取りまとめ ・博士論文予備審査 ・博士論文審査(本審査)・最終試験等 ・博士学位授与
	小計(3科目履修)	—	8				
合計(7科目履修)		—	16				

人間空間デザイン分野の履修モデル例②

〔研究テーマ例：都市と自然との調和による地域環境保全について考究する〕

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位	履修時期			学生の動き・教育研究の目標等
				1年次	2年次	3年次	
基本科目	横断型連携特別演習	1通年	2	→			・研究に対する複眼的思考能力、社会を俯瞰する広い視野の涵養
	人間空間デザイン研究法	1前期	2	→			・建築史研究、都市計画研究法、自然環境調査法等の手法を修得
	人間情報デザイン研究法	1前期					
	小計(2科目履修)	—	4				
展開科目	人間空間デザイン特講	1後期	2	→			・建築史、建築設計・意匠、都市計画、建築環境等についての知識修得
	人間情報デザイン特講	1後期					
	博士デザイン特別演習	2前期	2		→		・都市計画、自然環境、応用生態工学等の理論を実践的に展開
	小計(2科目履修)	—	4				
研究指導科目	博士特別研究I	1通年	2	→			・都市計画系・環境系指導教員の決定 ・研究テーマの検討・決定 ・研究計画書審査会、倫理審査会での審査
	博士特別研究II	2通年	2		→		・研究テーマの遂行 ・学会誌等への論文投稿 ・公開発表会(中間発表会)での発表
	博士特別研究III	3通年	4			→	・博士論文の作成・取りまとめ ・博士論文予備審査 ・博士論文審査(本審査)・最終試験等 ・博士学位授与
	小計(3科目履修)	—	8				
合計(7科目履修)		—	16				

人間情報デザイン分野の履修モデル例①
〔研究テーマ例：感性評価を活かしたプロダクトデザインを考究する〕

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位	履修時期			学生の動き・教育研究の目標等
				1年次	2年次	3年次	
基本科目	横断型連携特別演習	1通年	2	→			・研究に対する複眼的思考能力、社会を俯瞰する広い視野の涵養
	人間空間デザイン研究法	1前期					
	人間情報デザイン研究法	1前期	2	→			・感性評価、形状情報設計、視覚認知特性等を通じた研究手法を修得
	小計(2科目履修)	—	4				
展開科目	人間空間デザイン特講	1後期					
	人間情報デザイン特講	1後期	2	→			・人間工学、感性評価、感性インタラクション、形状情報設計、視覚認知等についての理論修得
	博士デザイン特別演習	2前期	2		→		・感性評価、感性情報学、ヒューマンインタフェースの理論を実践的に展開
	小計(2科目履修)	—	4				
研究指導科目	博士特別研究I	1通年	2	→			・感性デザイン系指導教員の決定 ・研究テーマの検討・決定 ・研究計画書審査会、倫理審査会での審査
	博士特別研究II	2通年	2		→		・研究テーマの遂行 ・学会誌等への論文投稿 ・公開発表会(中間発表会)での発表
	博士特別研究III	3通年	4			→	・博士論文の作成・取りまとめ ・博士論文予備審査 ・博士論文審査(本審査)・最終試験等 ・博士学位授与
	小計(3科目履修)	—	8				
合計(7科目履修)		—	16				

人間情報デザイン分野の履修モデル例②
〔研究テーマ例：ヒューマンインタフェースとユーザビリティを考究する〕

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位	履修時期			学生の動き・教育研究の目標等
				1年次	2年次	3年次	
基本科目	横断型連携特別演習	1通年	2	→			・研究に対する複眼的思考能力、社会を俯瞰する広い視野の涵養
	人間空間デザイン研究法	1前期					
	人間情報デザイン研究法	1前期	2	→			・感性評価、形状情報設計、視覚認知特性等を通じた研究手法を修得
	小計(2科目履修)	—	4				
展開科目	人間空間デザイン特講	1後期					
	人間情報デザイン特講	1後期	2	→			・人間工学、感性評価、感性インタラクション、形状情報設計、視覚認知等についての理論修得
	博士デザイン特別演習	2前期	2		→		・CAD、形状モデリング、ユーザインタフェース等の理論を実践的に展開
	小計(2科目履修)	—	4				
研究指導科目	博士特別研究I	1通年	2	→			・工学・情報系指導教員の決定 ・研究テーマの検討・決定 ・研究計画書審査会、倫理審査会での審査
	博士特別研究II	2通年	2		→		・研究テーマの遂行 ・学会誌等への論文投稿 ・公開発表会(中間発表会)での発表
	博士特別研究III	3通年	4			→	・博士論文の作成・取りまとめ ・博士論文予備審査 ・博士論文審査(本審査)・最終試験等 ・博士学位授与
	小計(3科目履修)	—	8				
合計(7科目履修)		—	16				

3-2 履修登録について

授業科目の履修登録は、単位を修得するために欠かせない手続きであり、履修しようとする授業科目については、必ず履修登録を行わなければなりません。履修登録の手続きを行わないで授業を受けても、単位を修得できません。履修登録の手続きにあたっては、以下の内容をよく読み、ガイダンスや掲示などによる指示に従って、各自が自主的に時間割を作成するなど、計画的に履修することが必要となります。

(1) 基本事項

- a.履修科目は、教育課程、Webシラバス、授業時間割などによって適切に決定してください。
- b.所属年次に配当されている必修科目は、必ず履修登録してください。
- c.上の年次に配当されている授業科目は履修登録できませんが、下の年次に配当されている授業科目については履修することができます。
- d.単位を修得した授業科目を再度履修登録することはできません。
- e.履修登録確認期間を過ぎ、履修が確定した科目の変更は原則として認めません。
- f.指定された期間に履修登録を行わなかった場合は、その学期の履修はできないこととなります。
- g.他研究科の授業科目を履修することも可能ですが、当該授業科目を履修することにより修得した単位は、修了要件単位に含めることはできません。

(2) 履修登録の方法

履修登録は、前・後期の各「履修登録期間」内に、学内専用の学生用Webサービスの「Web履修申請」メニューから学生本人が行います。

入力方法については、履修する科目をWebシラバスでよく確認のうえ、マニュアル（P24以降）の操作手順に従って申請入力してください。履修申請情報を入力後、必ず登録確認画面で履修申請する科目の確認をしてください。

また、入力に際しては、各自の時間割を完成させた上で、システムへの入力を始めてください。

なお、履修登録期間中は、申請入力した内容を各自で修正することができます。

※Webシラバスは、キャンパスプラン学生用Webサービスのメインメニューまたは大学公式ウェブサイトからアクセスできます。

履修登録期間・履修登録確認期間

【前期】4月

月	火	水	木	金	土	日
4/1	2	3	4	5	6	7
			履修登録期間 4/4(木)~4/11(木)まで			
8	9	10	11	12	13	14
履修登録期間 4/4(木)~4/11(木)まで						
15	16	17	18	19	20	21
履修登録確認期間 4/15(月)~4/18(木)まで				前期履修 登録確定		
22	23	24	25	26	27	28

【後期】10月

月	火	水	木	金	土	日
9/30	10/1	2	3	4	5	6
			履修登録期間 10/1(火)~10/8(火)まで			
7	8	9	10	11	12	13
履修登録期間 10/1(火)~10/8(火)まで			履修登録確認期間 10/10(木)~10/16(水)まで			
14	15	16	17	18	19	20
履修登録確認期間 10/10(木)~10/16(水)まで			後期履修 登録確定			
21	22	23	24	25	26	27

■履修登録期間

前期：2019年 4月 4日(木)～ 4月11日(木) 17：00 *日時厳守

後期：2019年10月 1日(火)～10月 8日(火) 17：00 *日時厳守

- ①登録方法は、「キャンパスプラン Web履修申請システム 学生用マニュアル」を参照すること。
- ②期間中は新規登録・修正・削除が何度でも可能。
- ③学内のパソコンで登録（図書館を含む）。
- ④登録&エラーチェックが終わったら、時間割のPDFファイルを印刷するなどして必ず手元に残しておくこと。
- ⑤前期履修登録期間は前期の科目と通年科目のみ登録すること。また、後期履修登録期間は後期の科目のみ登録すること。

■履修登録確認期間

前期：2019年 4月15日(月)～ 4月18日(木) 17：00 *日時厳守

後期：2019年10月10日(木)～10月16日(水) 17：00 *日時厳守

確認すべき点

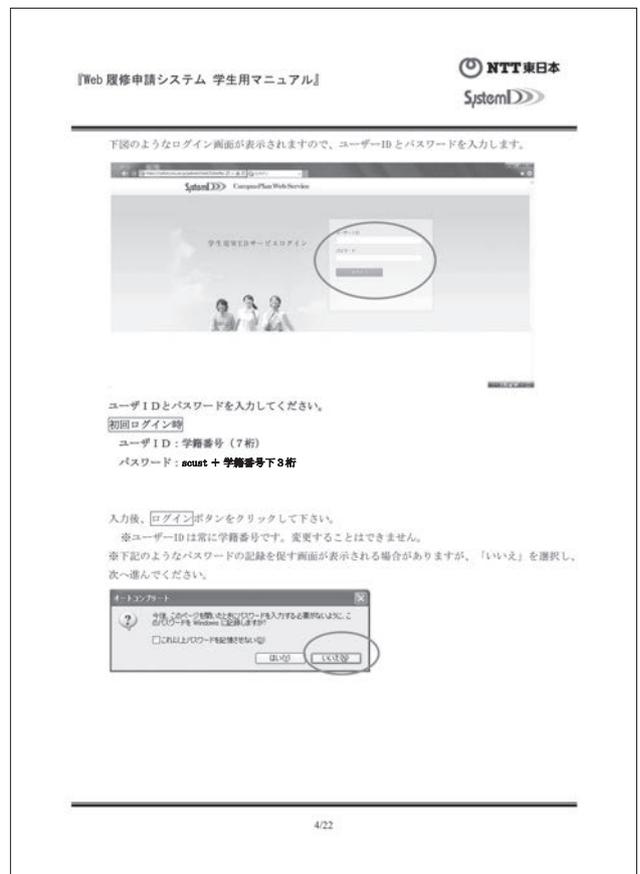
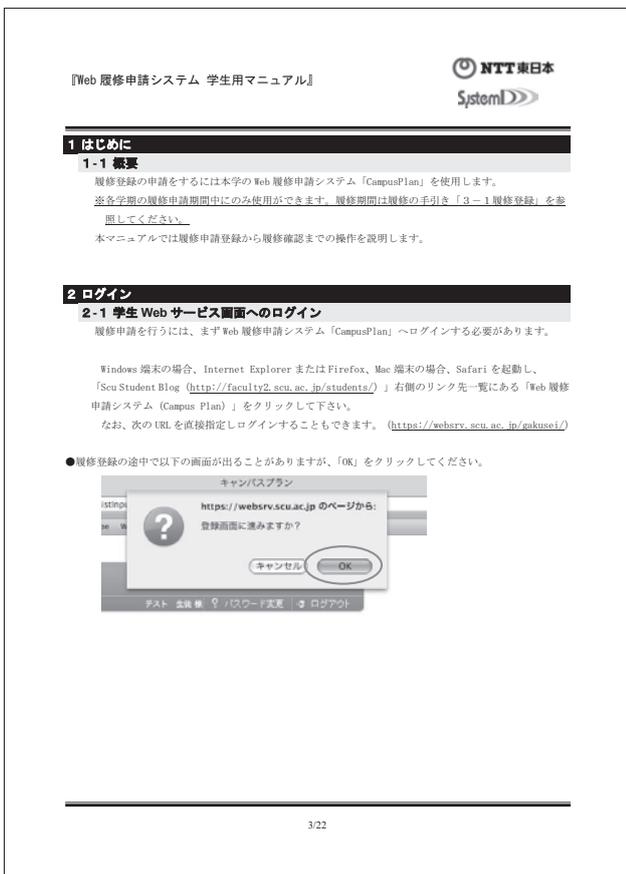
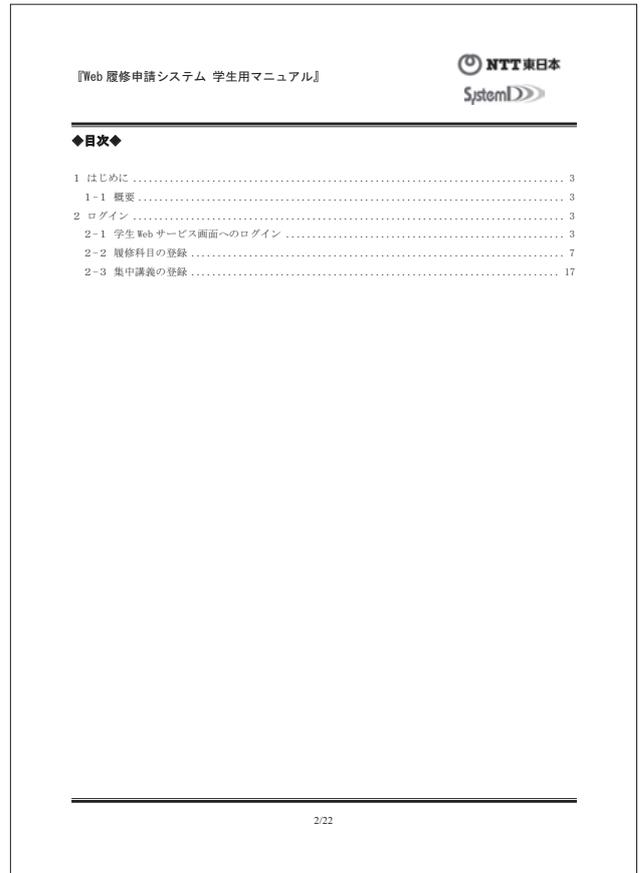
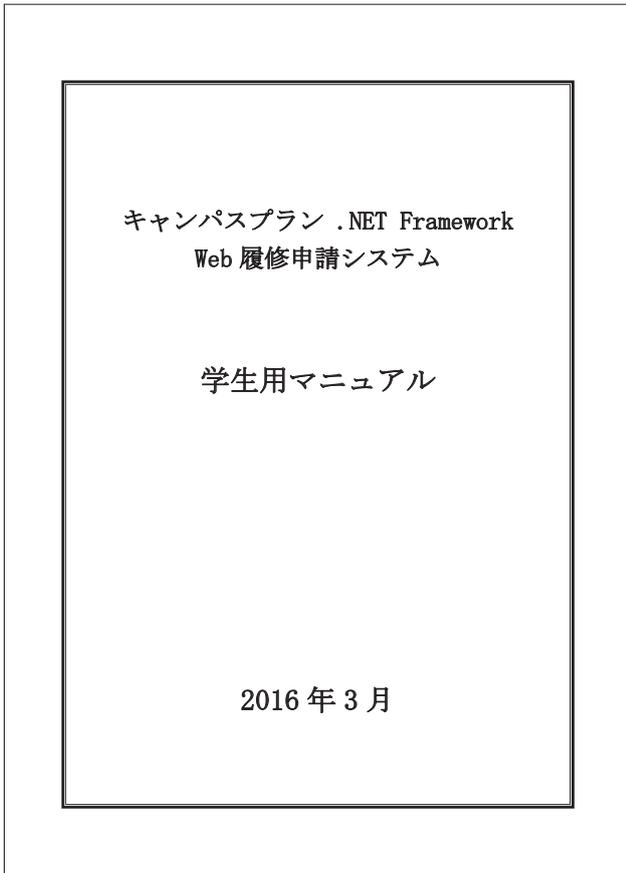
- ①履修希望科目（特に必修科目・再履修科目）が登録されているか。
- ②履修希望しない科目が登録されていないか。

訂正・修正

- ・履修登録確認期間中に各自で行うこと。

※履修登録確定後の修正は一切認められません。

3-3 履修登録マニュアル



初回ログイン時にはパスワード変更を求める画面が表示されます。



[旧パスワード]欄に scust+学籍番号下3桁を入力して下さい。
 続いて [新パスワード]欄に新しいパスワードを入力して下さい。(6桁以上が必須です)
 もう一度 [新パスワード再入力]欄に入力して **変更** ボタンをクリックします。(変更したパスワードは忘れないよう、必ず記録しておいてください。)

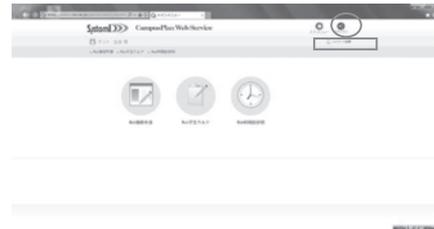
以下の確認メッセージが表示されます。「OK」をクリックして次へ進んでください。



「パスワードを変更しました。」のメッセージが表示されます。**メインメニュー** ボタンをクリックします。



② 以下のような学生用メニュー画面が表示されます。この画面が CampusPlan 学生用 Web サービスのメインメニューです。自分の名前が画面左上部に表示されていることを確認して下さい。目的に応じて、「Web 履修申請」「Web 時間割参照」等の各システム画面へと移ります。

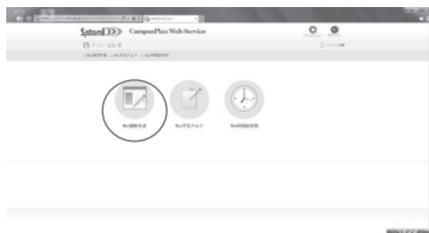


画面右上部にある **パスワード変更** ボタンをクリックすると、パスワード変更画面が表示されますのでいつでも自分のログインパスワードを変更することができます。
 また、CampusPlan を終了する場合には **ログアウト** ボタンをクリックします。

2-2 履修科目の登録

Web 履修申請画面を起動します。

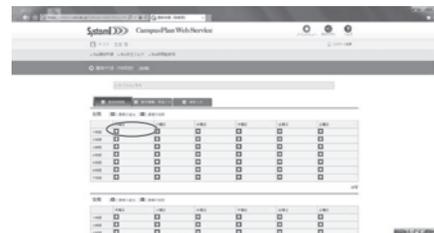
① 学生用メニュー画面の **Web 履修申請** ボタンをクリックします。



② 次のような機能一覧が表示されます。**履修申請 (時間割)** をクリックして下さい。



③ 授業時間割表が画面に表示されます。各曜日時間ブロックにある **+** ボタンをクリックすると、その時間に開講されている科目のうち、現在自分が履修可能な科目のみが一覧リストに表示されます。

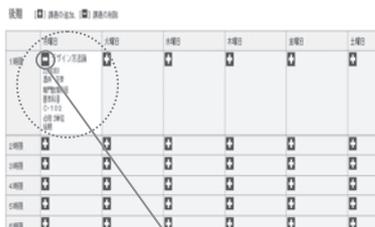


一覧リストの中から、履修したい科目を選んで **選択** ボタンをクリックします。



自分の所属するプログラムではカリキュラム要件上履修できない科目や、既に単位修得した科目はリストに表示されません。

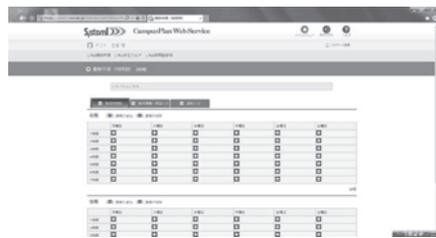
選択した科目が表示されます。



一旦登録した科目を削除する場合は「**削除**」ボタンをクリックします。
以下のメッセージが表示されますので「**OK**」をクリックして完了です。



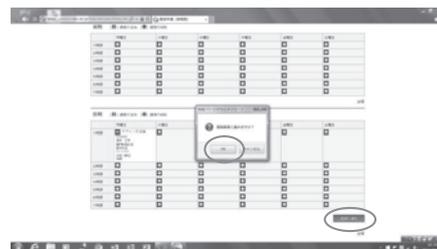
時間割画面が表示されますので、科目が削除されたことを確認します。



9/22

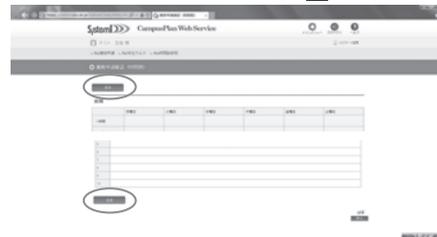
・申請処理

科目の選択が終了したら、画面下部にある「**登録に進む**」ボタンをクリックします。
以下の確認メッセージが表示されますので、「**OK**」をクリックします。



履修申請確認画面が表示されます。

画面上で科目を確認した後、画面最上部あるいは最下部にある「**登録**」ボタンをクリックします。



10/22

以下の確認メッセージが表示されますので、「**OK**」ボタンをクリックします。



履修申請チェック画面が表示されます。
申請された履修情報に問題が無いチェックを行います。
注意）必ずチェックが終了するまでお待ちください。

11/22

「履修申請チェック登録完了」画面が表示されます。

◆「エラーがない場合」

履修申請チェックにエラーがない場合は下図のように完了のメッセージが表示されます。
「**履修チェック結果を確認する**」をクリックし、履修チェック結果（時間割）画面に移動します。
※Web 履修申請のメニューの「履修チェック結果（時間割）」クリックでも同様に移動します。



◆「エラーがある場合」

エラーがある場合、下図のメッセージが表示されます。



「**履修チェック結果を確認する**」ボタンをクリックすると、履修登録完了後の結果（エラーを含む）を確認することができます。「履修チェック結果（時間割）」画面に移動します。
※Web 履修申請のメニューの「履修チェック結果（時間割）」クリックでも同様に移動します。

12/22

Web 履修申請のメニューの「履修チェック結果（時間割）」をクリックすると下記のような画面が表示されます。

※「履修申請チェック登録完了」の「履修チェック結果を確認する。」ボタンからでも同様です。



履修登録が完了した後、申請された履修情報に問題が無いかチェック後の結果情報を本機能で公開します。

- ①履修確定情報 ※卒業要件集計状況等の情報も表示されます。
- ②履修エラーの確認
- ③履修情報を PDF 出力（履修エラー情報も含む）

①履修確定情報の確認

システムでチェックを行った結果、問題なく履修できると判断された講義情報を表示しています。通常講義については前後期に分けた時間割表形式で表示し、集中講義及び実習については通常講義の後期の情報の下に一覧形式で表示します。

内容に間違いが無いかご確認ください。

履修	履修	履修	履修	履修	履修
履修					

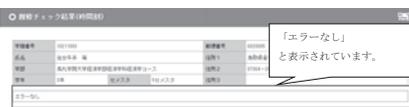
履修	履修	履修	履修	履修	履修
履修					

集中講義・実習	集中講義・実習	集中講義・実習	集中講義・実習	集中講義・実習	集中講義・実習
集中講義・実習					
集中講義・実習					
集中講義・実習					

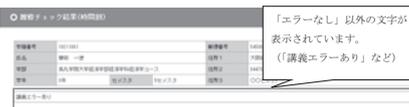
②履修エラーの確認

チェック結果にエラーがあったかどうかを表示しています。エラーがあると表示されている場合は、再履修登録（履修修正）等が必要になる可能性があるため必ず確認をしてください。

- ◆「エラーがない場合」



- ◆「エラーがある場合」



エラーがある場合、履修確定した講義情報の下にエラーとなった講義の情報が表示されます。

集中講義・実習	集中講義・実習	集中講義・実習	集中講義・実習	集中講義・実習	集中講義・実習
集中講義・実習					
集中講義・実習					
集中講義・実習					

エラー講義	エラー講義	エラー講義	エラー講義	エラー講義	エラー講義
エラー講義					

卒業要件集計情報

③履修情報の PDF 出力



PDFアイコンをクリックし、保存ボタンをクリックしてPDFファイルを保存してください。密閉をクリックした場合、PDFに関連しているアプリケーションが起動します。※ファイル名は、学籍番号.YYYYMMDDhhmm.pdf になります。

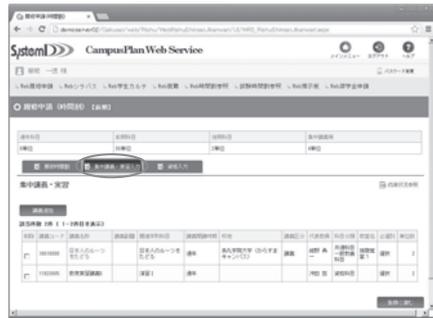
※履修チェックエラーがある場合、エラー内容も出力されます。

2-3 集中講義・実習申請

集中講義・実習への履修申請を行います。

<処理手順>

①前期時間割の右上にある**集中講義・実習入力**をクリックします。



②下図のような画面が表示されますので、**講義追加**ボタンをクリックします。



③履修したい集中講義・実習の講義条件を入力して**以下の条件で検索**ボタンをクリックします。
 (注意) 何も条件を指定しないと検索できないので、例えば、講義開講時期を「前期」～「前期」と指定して検索をするようにして下さい。



④画面下部に下図のような画面が表示されますので、履修したい科目を選んで**選取**ボタンをクリックします。



⑤下図のような画面が表示されましたら選択終了です。続けて集中講義・実習を追加する場合は**講義追加**ボタンをクリックして上記作業を行います。履修申請に進む場合には**登録に進む**ボタンをクリックします。申請登録の処理については、次ページの申請処理にて説明します。



一旦登録した集中講義・実習を削除する場合は、「削除」のチェックボックスをONにします。

・申請処理

科目の選択が終了したら、画面下部にある**登録に進む**ボタンをクリックします。

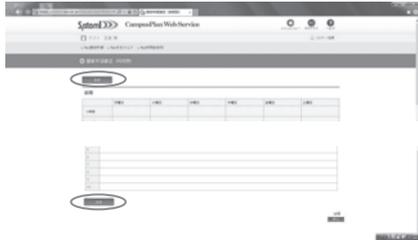


以下の確認メッセージが表示されますので、**OK**をクリックします。



※看護学部の実習は「集中講義申請」から履修申請を行います。

履修申請確認画面が表示されます。
画面上で科目を確認した後、画面最上部あるいは最下部にある「**保存**」ボタンをクリックします。



以下の確認メッセージが表示されますので、「**OK**」ボタンをクリックします。



履修申請チェックにエラーがない場合は下図のように完了のメッセージが表示されます。
「**履修チェック結果を確認する**」をクリックし、履修チェック結果画面に移動します。
※Web 履修申請のメニューの「履修チェック結果」をクリックでも同様に移動します。



履修チェック結果画面で、登録した内容に誤りがないか確認します。
以上で、履修登録の操作は終了です。履修登録期間内であれば、自由にログインし、履修申請内容を変更することができます。